

1953年8月

クマ族の老人ワレップとクムによる、イニシエーション儀礼のときの教示

…父は私によくいったものだった。「息子よ、結婚前に、女と交わってはならない。それはよくないことなのだ」。(中略) われわれは若い頃、忠実に、この父の言葉にしたがっていたものであった。だからこそクムと私は、この年になるまで、生きながらえてきたのだ。

だが子どもたちは、われわれの忠告に、耳をかそうともしない。そして彼らは、節操なく女友達とつき合っている。だからこそ、彼らやその子どもたちは、あんなにも虚弱なのだ。この二人の老人を見よ。われわれがどれほど大きいかを。なぜならばわれわれは、女友達に対し、どのように振る舞えばよいかを知っていたからだ。…

…若い頃われわれは、決して女たちと寝るようなことはしなかった。(中略) それゆえにこそ、今でもわれわれは、こんなにも大きく、そして強いのだ。だが今やわれわれの子どもたちは、女たちと寝て、それについて何も考えようとはしない。彼らは、水(精液)を失っているのだ。そして、彼らの子どもたちは小さく、彼ら自身もまた小さい。

(中略) われわれは、自分の水(精液)に対し、細心の注意を払っていた。だからこそ、われわれの土地さえものが、たくさんの水を含んでいたのだ。われわれがサツマイモや野菜、それにバナナなどを植えていた頃、われわれの畑は、本当にすばらしいものであった。

だが今やお前たちは、身体の中の水に、注意を払っていない。その結果、子どもたちは小さく、お前たちの畑は乾き、収穫物は乏しい。われわれの子どもたちは、結婚前に女たちと交わっている。彼らは水を失い、結婚したときには乾いてしまっており、もはや子供を持つことはできないのだ。

[杉島 1987: 84-86] ([Luzbetak 1954: 121-125])

Luzbetak, L.J. 1954 "The Socio-Religious Significance of New Guinea Pig Festival." Anthropological Quarterly 27: 59-80, 102-125.

杉島敬志 1987「精液の容器としての男性身体: 精液をめぐるニューギニアの民俗的知識」『文化人類学』4: 84-107、アカデミア出版会。